

キャラクター名
四月一日 仁 (わためき じん)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	バーテンダー
	パロール					
オプション			年齢	21	性別	男
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	32	%
出自	天涯孤独	経験	敵対組織	邂逅	同士	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	9
精神	3	0	1	1		5	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	10		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Absolute Gravity	RC	7r+10		9		[黒の鉄槌Lv1+氷の塔Lv2+コンセイトレイトLv2+結合粉砕Lv2]
Freeze archer	RC	7r+10		6		[氷の塔Lv2+コンセイトレイトLv2+結合粉砕Lv2]
Celsius Garden	RC	11r+10		30		[黒の鉄槌Lv2+氷の塔Lv3+コンセイトレイトLv3+結合粉砕Lv3+プラズマカノンLv3]

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 情報屋	
コネ: 噂好きの友人	
応急手当セット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
亜純血	P	N		
テレース・ブルーム	P 尽力	N		
霧谷	P 信頼	N		
	P 同情	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセイトレイト	2	2	Mj	-	自身	-		
効果:	C値-Lv							
因果歪曲	2	3	Mj	-	範囲	-	S	
効果:	同エンゲージ外の対象を範囲に変更。1シナリオLv回まで							
斥力跳躍	2	1	Mn	-	自身	自動	-	
効果:	Lv*2m移動。飛行状態で移動。							
黒の鉄槌	1	1	Mj	視界	-	<RC>	-	
効果:	同エンゲージ不可。[攻撃力+Lv*2+2]							
プラズマカノン	2	4	Mj	視界	単体	<RC>	100	
効果:	[攻撃力+LV*5]							
結合粉砕	2	4	Mj	-	-	-	S	
効果:	装甲無視、D+Lv							
氷の塔	3	4	Mj	視界	範囲	<RC>	-	
効果:	同エンゲージ不可。[攻撃力+Lv*3]							
氷雪の守護	2	3	O	至近	自身	-	-	
効果:	1ラウンドに1回。ダメージ-[Lv+1]D							
フェニックスの翼	1	4	C	至近	自身	-	-	
効果:	LV*5 回復							
ディメンションゲート	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【背景】
 出自不明のUGNエージェント。
 現在は日本支部に所属しており、支部長の手先(または補佐)を行っている。
 少なくとも6年前にはUGN組織内で姿で確認されている。
 素性が不明であるものの実力のあるエージェントとして一目置かれている一方で、オーヴァードを管理したいUGN本部としては異分子であるため、評価は2極化している模様。

クロスブリードでありながら片方のシンドロームに精通する「亜純血」であり、サラマンダーの力に精通している。
 普段はパロールの「ディメンションゲート」を使用し、あたかも普通のクロスブリードのようにふるまっている、らしい。
 その攻撃は、極寒に閉ざされた棺に納られるように相手は沈黙することから、「Frigid coffin (厳寒に閉ざされた棺)」と言われるようになった。
 美しい氷の塔を創造しながら、一撃で重力の一撃で打ち抜く様は、非情だと評されることもしばしば。

【性格】
 ひょうひょうとしており、真意の読めない人物。
 唯我独尊、気の向くままに動く風来坊のような様だが、依頼された任務は忠実にこなしている。
 手の抜くところは手を抜き、力をいれるべきところは入れる模様。
 とらえどころのない人物だが、なんやかんや他人のことは観察しそれとなく察している食えない性格である。

果たしてどのような過去を背負っているのか不透明であるが、年に不相応な達観した表情からは、この現状に何か思うところはあるようだ。

誰しもが、打ち明けられぬ秘密がある